

教科名	理科	単位数	2 単位	担当者	木川田 敏晴
科目名	地学基礎演習	学年・学級	3 年次文系（選択）		
使用教科書 副教材等	「高等学校地学基礎」（啓林館） 「センサー地学基礎」（啓林館）				
1 学習の到達目標（何ができるようになるのか）					
・地学的な事物・現象に主体的に探究しようとする事ができる。 ・地学的な見方・考え方を駆使し、発展的な思考をすることができる。 ・観察・実験などがイメージでき、得られたデータを総合的に考察することができる。 ・地学の基本的な概念や原理・法則への理解を深めることができる。					
2 学習の評価（評価規準と評価方法）					
観 点	a. 知識及び技能	b. 思考力,判断力,表現力等		c. 主体的に学習に取り組む態度	
観 点 の 趣 旨	地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、他分野の知識とも結びつけることができる力に付けている。 観察、実験などの基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する能力を身に付けている。	地学的な事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。		地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けている。	
主 た る 評 価 方 法	行動の観察 定期考査 生徒の自己評価	行動の観察 定期考査 プリントの点検 生徒の自己評価		行動の観察 定期考査 プリントの点検	
3 学習の目標と振り返り					
	《目 標》 ～何ができるようになりたいか具体的に～		《振り返り》 ～学習の振り返りと今後の課題～		
第1回定期考査 まで			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		
第2回定期考査 まで			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		
第3回定期考査 まで			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		

4 学習の内容						
学 期	学習内容 (単元)	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c		
前 期	第1部 固体地球とその変動 第1章 地球 地球の概観について学び、その内部構造について理解する。 第2章 活動する地球 プレートと地球の活動について理解し、地震や火山活動、火成岩の形成について学ぶ。	○	◎	○	a. プレーートの運動や、火山活動と地震について関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b. 火山活動と地震の発生の仕組みを、プレート運動と関連づけて考察し、導き出した答えを表現しようとする。 d. プレーートの分布と運動、火山活動と地震の発生の仕組みについて理解し、知識を身につけている。	a.行動の観察生徒の自己評価 b.定期考査
	第2部 移り変わる地球 第1章 地球史の読み方 堆積岩とその形成や地層と地質構造について学び、地球の歴史の組み立てについて理解する。 第2章 地球と生命の進化 古生物の変遷と地球環境の変化について理解し、先カンブリア時代や顕生代について学ぶ。	○	◎	○	a. 地層の形成や地質構造、古生物の変遷と地球環境について関心を持ち意欲的に探究しようとする。 b. 地質構造の形成過程を順序だて、地球環境の変遷と古生物の変遷を関連付けて考察し、導き出した答えを表現しようとする。 d. 地層形成の仕組みと地質構造、古生物の変遷と地球環境の変化について理解し、知識を身につけている。	a.行動の観察生徒の自己評価 b.定期考査
後 期	第3部 大気と海洋 第1章 大気の種類構造 大気圏について理解し、水と気象の関係を学ぶ。 第2章 太陽放射と大気・海洋の運動 地球全体のエネルギー収支について理解し、大気の大循環や海水の循環について学ぶ。 第3章 日本で見られる季節 日本の季節の気象を学ぶ。	○	◎	○	a. 大気の熱収支や大気と海洋の運動について関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b. 太陽放射と地球放射の熱収支、および太陽放射の受熱量の差異と地球規模の熱輸送を関連付けて考察し、導き出した答えを表現しようとする。 c. 地球の熱収支、大気と海洋の運動に関する観測データを収集し、そこから得られる結果を的確に記録、整理している。 d. 大気の構造と地球全体の熱収支、大気の大循環と海水の運動による地球規模の熱の輸送について理解し、知識を身につけている。	a.行動の観察生徒の自己評価 b.定期考査
	第4部 宇宙の構成 第1章 太陽系と太陽 太陽系の誕生、太陽の表面の現象と太陽のエネルギー源及び太陽系の天体について学ぶ。 第2章 恒星としての太陽 恒星としての太陽の誕生と進化を理解する。 第3章 銀河と宇宙 銀河系とまわりの銀河について学び、宇宙の誕生と銀河の分布について理解する。	○	◎	○	a. 太陽系の中の地球、太陽と恒星、宇宙の構造について関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b. 宇宙の誕生から地球が生命を生み出す惑星になるまでの過程、および恒星の進化とエネルギー源を関連付けて考察し、導き出した答えを表現しようとする。 c. 太陽系の惑星、宇宙に関する観測データを収集し、そこから得られる結果を的確に記録、整理している。 d. 太陽系の惑星の特徴、太陽に代表される恒星の進化、宇宙の誕生と銀河の分布について理解し、知識を身につけている。	a.行動の観察生徒の自己評価 b.定期考査
	第5部 自然の共生 地球環境に及ぼす人間活動の影響について理解し、日本の自然災害と防災について学ぶ。	○	◎	○	a. 日本の自然環境について関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 b. 日本の自然環境が災害など人間活動と深く関わっていることを考察する。	a.行動の観察生徒の自己評価 b.定期考査

